

府立和泉支援学校



テーマ：授業のユニバーサルデザインについて

概要

一人ひとりの笑顔が輝く和泉支援学校一わかりあう・支え合う・育ちあう一

高等部2年の職業(窯業)の授業を対象に授業づくり支援を行いました。和泉支援学校は、ユニバーサルデザインの学校づくりを進めており、本研修支援においてもユニバーサルデザインの考えを取り入れた授業づくりをテーマとしました。事前授業に先立って、ユニバーサルデザインの授業づくりの在り方については、教室掲示等の環境面だけでなく、言葉かけの仕方や教員配置等の体制面も含まれることを全校で共有しました。主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善にかかるポイントや具体例について共有を行いました。

実施

スケジュール

Research

6月10日(水)

管理職、首席、授業者、指導主事による打合わせ

Vision

10月2日(金)

全体会

テーマ：「主体的・対話的で深い学びについて」

「授業のユニバーサルデザインについて」

Plan

10月上旬～

学習指導案の作成・検討

Do

11月10日(火)

事前授業・研究協議

11月17日(火)

研究授業・研究協議

Check & Act

1月下旬

アンケート集約

全体会

10月2日(金) 「主体的・対話的で深い学びについて」
「授業のユニバーサルデザインについて」

The image shows several documents and diagrams from the lesson improvement project. On the left, there is a flowchart titled '3. Plan (学習指導案作成) ☆「めざす授業像」の具体化' which details the roles of '授業者・担当者' and '教育センター指導主事'. In the center, there are two diagrams: one titled '主体的・対話的で深い学びの視点' showing a cycle of '主体的な学び' and '対話的な学び', and another titled '授業のユニバーサルデザイン' showing '多様な学習活動の組み合わせ' leading to '深い学び'. On the right, there are several checklists and diagrams, including one titled '授業改善のための視点について' and another titled '主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善' which lists specific actions like '子どもが「なぜ」と考えることができるような場面をつくり、重点を置いての学びを促す'.

① 指導主事より

- ・ 「めざす授業像」の具体化にあたっては、授業者・担当者だけが協議するのではなく、同じ教科・学部の同僚がアイデアを出し合う等、教員一人ひとりが積極的に参加することにより、学校全体として授業像を具体化していくことを大切にしてもらいたいことを伝えました。
- ・ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善にあたっては、目標やねらいの設定においても各視点を踏まえて改善していく必要があること、各視点に基づいた具体的な学習内容(活動)をイメージするために「授業改善チェックリスト(*)」を活用してもらいたいことを伝えました。

*「わかった・できた・もっとやりたい」の視点を取り入れた『授業改善チェックリスト』大阪府教育センター
→子どもの具体的な姿に基づいて主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善について確認できます。

授業のユニバーサルデザインについては、黒板周りの掲示物の除去等の教室・学習環境の整備をはじめとして、「しっかり」「ちゃんと」などの抽象的な言葉ではなく、具体的な指示を伝える等、教員の指示や説明・発問の工夫に至るまで配慮すべきことを整理して伝えました。

② 授業者・担当者より

授業者・担当者より授業のねらいや配慮したいこと、生徒観について説明がありました。卒業後の就労等を見据えて、「全体の流れを把握して自身の作業に取り組むこと」を大切にしてほしいという点を強調されていました。



研究授業

学年・教科： 高等部2年 「職業」

単元名： 「バザーで販売するカップを作ろう」

「対話的な学びの視点を取り入れた授業づくり」

「授業構成における工夫」

研究協議の
ポイント

陶器の製作をグループに分かれて分業で行っており、生徒がより良い製品づくりをするための話し合いをするなど、対話的な学びにつながる活動を検討しました。また、授業の流れが分かりやすくなる掲示物の在り方についても協議を行いました。

成果

<主体的・対話的で深い学びについて>

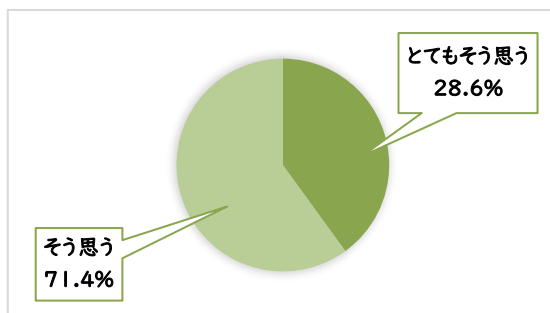
粘土を接着している箇所の上塗り具合について、各工程を担当している生徒が気付いたことを全体で共有することで、その後の製品の品質の向上につながりました。また、全体で共有することで、生徒からは「次はこうしよう」「こうすれば良くなる」といった発言が多く見られるようになり、対話的な学びが、主体的な学びにつながりました。

<授業のユニバーサルデザインについて>

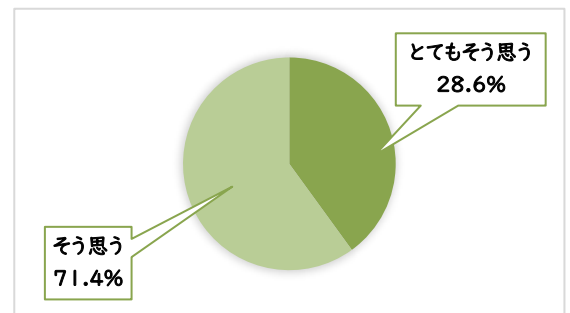
各工程の説明が視覚的に分かるようにカードにして掲示したり、1つの工程に1つの机を設定したり等、生徒が自分の役割を理解しやすく、かつ、安全に製作できる授業環境をつくることができました。

アンケート 結果

① 学校のニーズにできていた



② 今回の成果を継続的に生かしていく



(感想やご意見より)

- ・ (パッケージ研修支援を通して) 教員の力が伸びていることが感じられます。本校の全職員が「授業力」の向上へ向け、意識できたことが大きな収穫です。
- ・ 「主体的・対話的で深い学び」について、さらに理解を広めていきたいです。
- ・ 改めて自身の授業構成等について考えるきっかけになりました。貴重な経験になりました。
- ・ この研修を通して教員の授業に対する意識の向上がみられました。これを機に、本校教員一人ひとりが「授業力向上」に向けて取り組んでいけたらと思います。
- ・ 教員同士の学び合いについてもっと深めたいと思っています。今回の学びとともに、体制づくりも今後は取り組んでいきたいです。